

原色^{日本}甲虫図鑑(Ⅲ)

監修者：黒澤良彦 久松定成

監修者：佐々治寛之
編著



保育社

保育社の原色図鑑 70

原色^{日本}甲虫図鑑(Ⅲ)

農学博士 黒澤良彦 久松定成

農学博士 佐々治寛之

編著

COLORED ILLUSTRATIONS
OF
THE COLEOPTERA OF JAPAN Vol.Ⅲ

BY

Dr. Yoshihiko KUROSAWA

Sadanari HISAMATSU

&

Dr. Hiroyuki SASAJI

保育社

HOIKUSHA PUBLISHING CO., LTD.

17-13, 1-chome, Uemachi, Higashi-ku, Osaka, 540 Japan

The Coleoptera of Japan in Color Vol. III

Edited by

Dr. Yoshihiko KUROSAWA, Sadanari HISAMATSU

and Dr. Hiroyuki SASAJI

ISBN4-586-30070-1

© All rights reserved

First edition © Nov. 1985

Published by

Hoikusha Publishing Co., Ltd.

17-13, 1-chome, Uemachi,

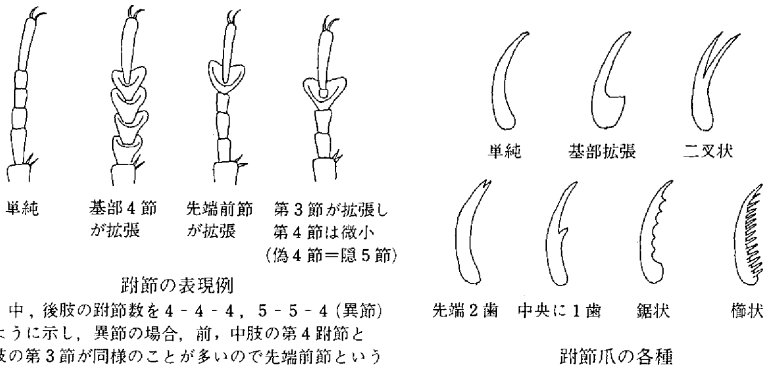
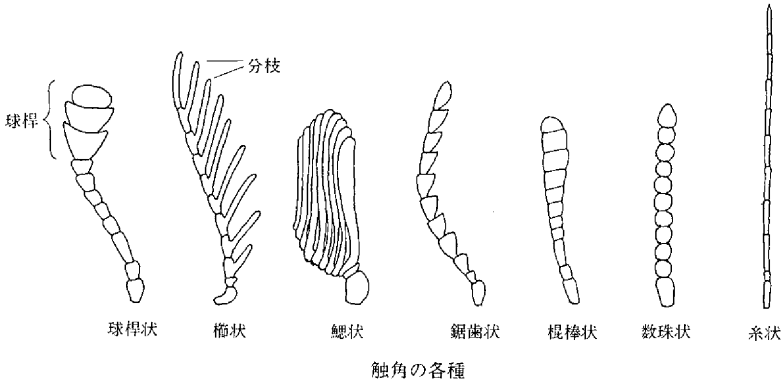
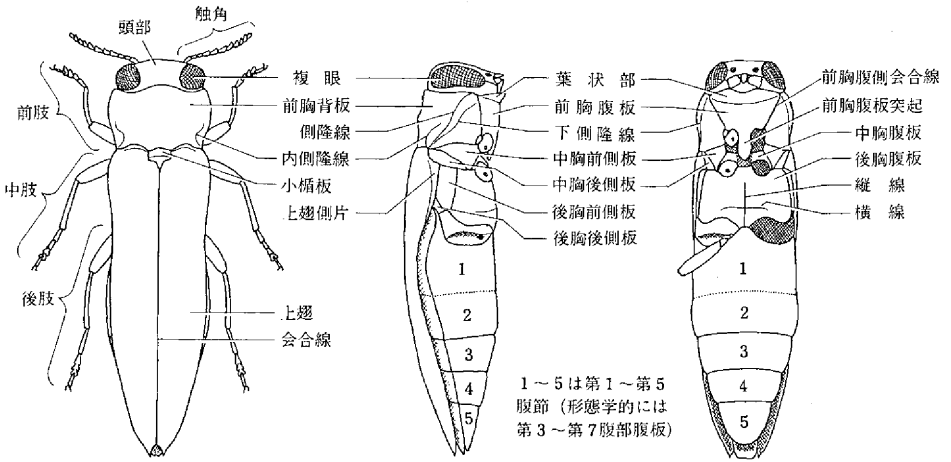
Higashi-ku, Osaka, 540 Japan

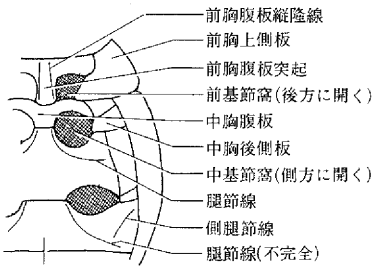
Printed in Japan

AUTHORS

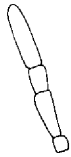
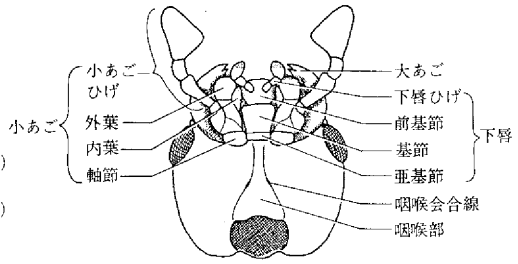
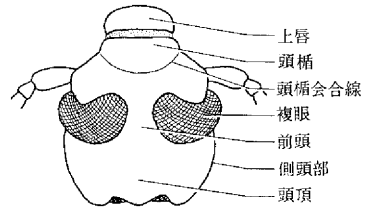
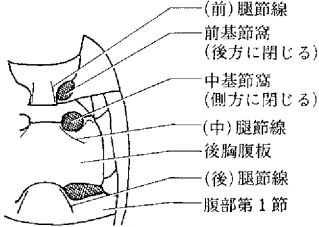
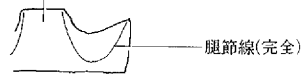
- Kiyoshi ANDO** Tenebrionidae (genera *Platydema*, *Ischnodactylus*, tribe Cnodalonini)
- Michitaka CHÔJÔ** Tenebrionidae (except genera *Platydema*, *Ischnodactylus*, tribe Cnodalonini), Lagriidae, Zopheridae
- Takeichirô HATAYAMA** Rhipiphoridae, Mordellidae (tribe Mordellistenini), Scaptiidae
- Sadanari HISAMATSU** Throscidae, Eucnemidae, Rhizophagidae, Cybocephalidae, Nitidulidae, Phalacridae, Merophysiidae (in collaboration), Lathridiidae (in collaboration)
- Yoshihiko KUROSAWA** Buprestidae (except genus *Agrilus*), Callirhipidae, Rhipiceridae, Lymexylonidae, Meloidae
- Kiyoshi MATSUDA** Lycidae (in collaboration)
- Mutsuo MIYATAKE** Trogossitidae, Cleridae, Ciidae, Mycetophagidae, Tetratomidae, Alleculidae, Oedemeridae
- Hitoo ÔHIRA** Elateridae (in collaboration)
- Nobuo OHBAYASHI** Dermestidae
- Masahiro SAKAI** Derodontidae, Nosodendridae, Thorictidae, Lyctidae, Bostrychidae, Ptinidae, Anobiidae, Sphindidae, Monommidae, Anthicidae, Aderidae
- Hiroyuki SASAJI** Passandridae, Cucujidae, Silvanidae, Helotidae, Cryptophagidae, Biphyllidae, Byturidae, Languriidae, Erotylidae, Propalticidae, Discolomidae, Phaenocephalidae, Cerylonidae, Corylophidae, Endomychidae, Coccinellidae, Colydiidae, Prostomidae, Elacatidae, Inopeplidae, Mycteridae, Salpingidae, Pythidae, Boridae, Cephaloidae, Pyrochroidae, Synchronidae, Melandryidae
- Masataka SATÔ** Lycidae (in collaboration), Cantharidae, Omethidae, Lampyridae, Melyridae
- Wataru SUZUKI** Elateridae (in collaboration)
- Masatoshi TAKAKUWA** Mordellidae (tribe Mordellini)
- Kazuo TANAKA** Merophysiidae (in collaboration), Lathridiidae (in collaboration)
- Masao TÔYAMA** Buprestidae (genus *Agrilus*)

用語解説





腹部第1節



円筒形



円筒形で
先端切断状



針形



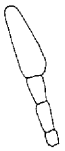
斧形



直角三角形



いちじるしく
横長



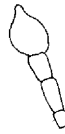
ナイフ形



全体が
鋸状



卵形



西洋ナシ形

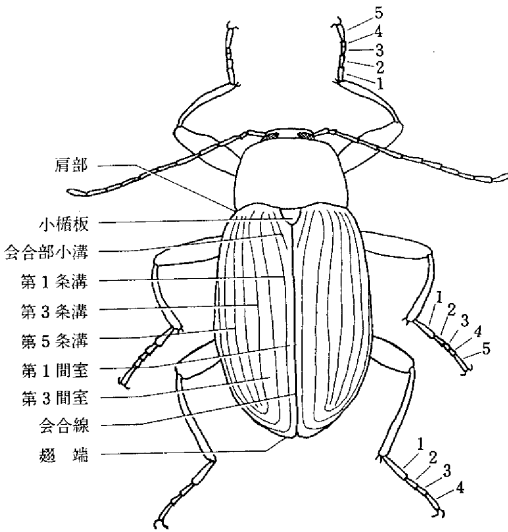
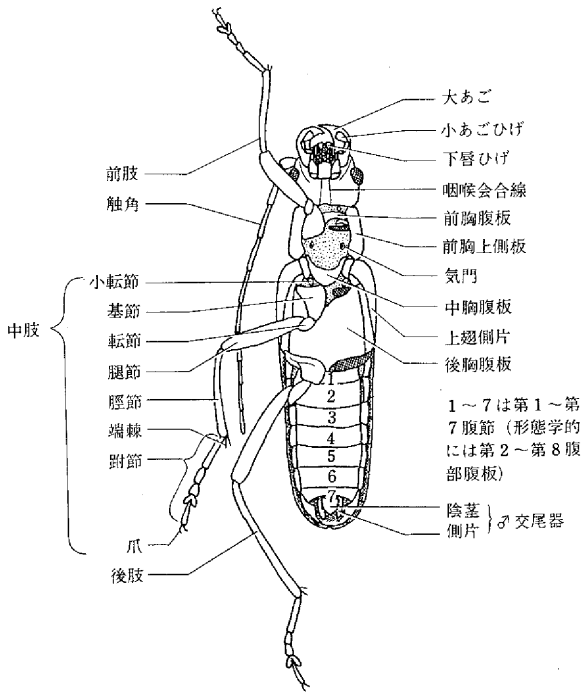


円錐形



紡錘形

小あごひげ末端節の各種



前, 中, 後肢の跗節数は 5 - 5 - 4 (異節)

佐々治寛之 作図

PLATE 40



テントウムシ科 Coccinellidae

半球形～卵形で多くは背面が強くふくらむ。触角は短く、前頭に顕著な彫刻がなく、小あごひげ末端節はふつう斧形、一部では紡錘形。腹節第1節に腿節線がある。世界に約4500種、日本に162種が知られる。一部は食葉性であるが、多くはアブラムシ類、カイガラムシ類、ハダニ類の天敵としてきわめて有用である。顕著な遺伝的多型をもつ種がある。

テントウムシ科の族の便宜的検索表（邦産のみに適用）

1. 背面は無毛で光沢がある（きわめて細くまばらな毛を有することがある）…………… 2
- 背面は細毛で密におおわれ、光沢にとほしい…………… 7
2. 頭楯は眼の前方で強く側方にひろがる。3.0-7.2mm (42図版15~21)……………
- ……………クチビルテントウ族 Chilocorini
- 頭楯は側方にひろがらない…………… 3
3. 小あごひげ末端節は円錐形か長卵形。3.5mm以下…………… 4
- 小あごひげ末端節は斧形か、短い円筒形で先端は切断状…………… 5
4. 前胸腹板はT字形、肢は正常。(40図版7~12)……………メツブテントウ族 Sticholotidini
- 前胸腹板は後端のまるい三角形、腿節は扁平(40図版3~6)……………ツヤテントウ族 Serangiini
5. 触角はいちじるしく短く、眼間幅よりはるかに短い。2.0-3.5mm (42図版6~9)……………
- ……………ツヤヒメテントウ族 Hyperaspini
- 触角は眼間幅とほぼ等長か、より長い。3.0-13.0mm…………… 6
6. 前胸背板前縁はU形にくぼむ。大あご先端は2歯状(42~44図版)……………
- ……………テントウムシ族 Coccinellini
- 前胸背板前縁は平たんか、浅く弧状にくぼむ。大あご先端は多歯状(44図版11~13)……………
- ……………カビクイテントウ族 Psylloborini
7. 頭楯は眼の前方で強く側方にひろがる…………… 8
- 頭楯は側方にひろがらない…………… 9
8. 腹部は6節がみえる。2.8-3.0mm (42図版14)……………ヨツボシテントウ族 Platynaspini
- 腹部は5節がみえる。1.3-2.0mm (42図版11)……………チビクチビルテントウ族 Telsimiini
9. 大型(4.5-8.5mm)で背面は強くふくらむ。大あごは多歯状、触角は眼の内方につく(44図版14~21)……………マダラテントウ族 Epilachnini
- 小~中型(6mm以下)、4mm以上のときは背面は弱くふくらむ。大あご先端は単純か2歯状、触角は眼の下方につく……………10
10. 小あごひげ末端節は長い円錐形、約1mm(40図版1, 2)……………
- ……………チビテントウ族 Sukunahikonini
- 小あごひげ末端節は斧形か、短い円筒形……………11
11. 腿節はいちじるしく扁平で幅広く、肢は静止時体下のくぼみにおさまる。半球形に近い。1.5-3.0mm (42図版12, 13)……………マルヒメテントウ族 Aspidimerini
- 肢はふつうで、いちじるしく扁平でない……………12
12. 触角は8節で、いちじるしく短小でない。上翅側片は幅広く、側下方にひろがる。中基節間隔は狭い、体はかなり扁平。3.0-5.7mm (42図版22~26)……………ベグリアテントウ族 Noviini
- 触角は9節以上で、ときにきわめて短小、上翅側片は狭くほぼ水平。中基節間は広い……………13
13. 4mm以上で、黄、赤、黒3色からなる(42図版10)……………アミダテントウ族 Ortaliini
- 4.5mm以下で、3色に彩られる場合は3mmに達しない……………14
14. 前胸腹板前縁中央は弧状に突出する。1.2-1.7mm(40図版13, 14)……………

-ダニクイヒメテントウ族 *Stethorini*
 一 前胸腹板前縁中央はほぼ平たん。1.1-4.2mm (40~42図版)ヒメテントウ族 *Scymnini*
 (40図版1~12はメツブテントウ亜科 *Sticholotidinae*, 40図版13~42図版10はヒメテントウ
 亜科 *Scymninae*, 42図版11~21はクチビルテントウ亜科 *Chilocorinae*, 42図版22~26はヒ
 ラタテントウ亜科 *Coccidulinae*, 42図版27~44図版13はテントウムシ亜科 *Coccinellinae*,
 44図版14~21はマダテントウ亜科 *Epilachninae* に所属する)

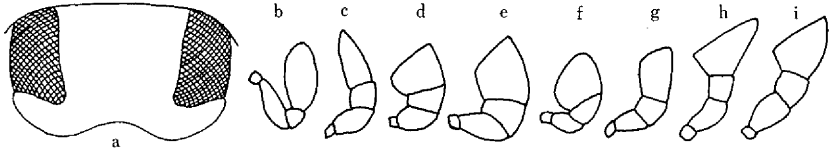


図23. テントウムシ科の頭部(a)と小あごひげ(b~i)

- a. ヒメアカテントウ b. クロツヤテントウ(ツヤテントウ族) c. ムツボシテントウ(メツブテ
 テントウ族) d. フタホシテントウ(ツヤテントウ族) e. ヒメアカホシテントウ(クチビルテント
 ウ族) f. フタモンクロテントウ(マルヒメテントウ族) g. コクロヒメテントウ(ヒメテントウ
 族) h. ナミテントウ(テントウムシ族) i. ニジュウヤホシテントウ(マダラテントウ族)

1. ムクゲチビテントウ *Sukunahikona japonica* (REITTER)

1.0-1.1mm. 一様に黄褐色で、前胸背板の前角近くに隆線があり、上翅は顕著な点刻列をもち、長短2種の毛でおおわれる。本州、九州、八丈島。

2. フタイロチビテントウ *Sukunahikona bicolor* H. KAMIYA

0.9-1.1mm. 上翅は黒色のものと、赤褐色で会合部が黒い2型がある。上翅は長短の毛でおおわれる。琉球(奄美大島、徳之島、沖縄本島、宮古島、石垣島、西表島);台湾。

3. クロツヤテントウ *Serangium japonicum* CHAPIN

1.5-2.0mm. 上翅の点刻は微細、頭部はふつう赤褐色、触角挿入孔は縁どられ、腿節はふつう黄褐色。樹葉上にふつう。コナジラミ類を捕食する。北海道、本州、四国、九州、佐渡、対馬、五島列島、琉球(トカラ列島)。

近縁のリウキュウツヤテントウ *S. ryukyense* H. KAMIYA は上翅点刻がほとんどみとめられない。琉球(沖縄本島以南)。

4. ズグロツヤテントウ *Serangium punctum* MIYATAKE

1.8-2.2mm. 上翅の点刻はやや強く、頭部は黒色。触角挿入孔は縁どられない。山地性でやや少ない。北海道、本州、四国、九州。

5. クビアカツヤテントウ *Serangium ruficollis* H. KAMIYA

1.7-1.9mm. 前胸背板が赤褐色なので容易に区別できる。まれ。琉球(沖永良部島)。

6. ヒメツヤテントウ *Microserangium okinawense* MIYATAKE

1.1-1.5mm. 小さく、跗節は3節、中、後脛節は外方が角ばる。上翅の点刻はきわめて微細。琉球(沖縄本島、石垣島、西表島);台湾。

近縁のシコクヒメツヤテントウ *M. shikokense* MIYATAKE は上翅点刻がやや強い。四国。

メツブテントウ族の属の検索表

1. 腹部第1節の腿節線は完全。前胸腹板の露見部はT字形で、側翼は明らかにみえる。上翅側片は狭く翅端に達しない。体形は卵形。触角は10節で頑強……………*Plotina*
- 腹部第1節の腿節線は不完全。前胸腹板の露見部はほぼ方形で、側翼は外からほとんどみえない。上翅側片は広く翅端に達する。体はほぼ半球形。触角は比較的細い……………2
2. 上翅は肩瘤があり、周縁部は外方に張り出す。小楯板は正常。触角は11節……………*Sticholotis*
- 上翅は肩瘤が欠き、周縁部は張り出さない。小楯板は微小か露見しない。触角は10節、1.5mm以下で、背面の点刻はきわめて微小かほとんどみとめられない……………*Nesolotis*

7. クロジュウニホシテントウ *Plotina versicolor* LEWIS

2.4-3.5mm, 体下面, 肢, 触角, 口器は赤褐色, まれ。本州, 四国, 九州; 中国。

8. メツブテントウ *Sticholotis substriata* CROTCH

2.7-3.0mm, 各上翅の会合線近くの中央部に強い点刻からなる2点刻列があり, 黄色部はない。本州, 四国, 九州, 対馬。

9. クロヘリメツブテントウ *Sticholotis hilleri* WEISE

3.2-3.3mm, 各上翅に2点刻列があり, 明瞭な2対の黄斑がある。まれ。本州。

10. ムツボシテントウ *Sticholotis punctata* CROTCH

2.0-2.6mm, 上翅に点刻列がなく, 黒斑は6個。冬期ケヤキの樹皮下にいるが, ♂がまったくみられず, 単為生殖をされると思われる。本州, 四国, 九州, 対馬。

近縁のヨツボシメツブテントウ *S. pictipennis* LEWIS は肩部に黒斑がない。きわめてまれ。九州。

11. モリモトメツブテントウ *Sticholotis morimotoi* H. KAMIYA

1.9mm, 上翅に点刻列なく, 2対の赤円紋がある。まれ。琉球(石垣島); 台湾。

12. キイロメツブテントウ *Nesolotis azumai* H. KAMIYA

ハネナシメツブテントウ属 *Nesolotis* の種の検索表

1. 背面は黒色で周辺部は褐色を帯びる。頭部, 体下は赤褐色。触角, 口器, 肢は黄褐色……………2
- 背面の地色は淡色……………3
2. 上翅の点刻はほとんどみとめられない。前頭の点刻は疎で不明瞭。1.4mm, きわめてまれ。琉球(奄美大島)……………クロメツブテントウ *N. impunctata* MIYATAKE
- 上翅の点刻は微細であるが明らかにみとめられる。前頭は明らかに, かなり密に点刻される。1.4mm, きわめてまれ。琉球(口之島)……………ニセクロメツブテントウ *N. punctifrons* MIYATAKE
3. 背面は黄褐色で, 無紋, 周辺部は狭く多少暗色。1.4-1.5mm, きわめてまれ。琉球(沖縄本島)……………キイロメツブテントウ
- 背面は橙黄色で, 各上翅の肩部, 会合線中央前, 側方中央後, 側方翅端前に4個の円形小黒紋を有する。きわめてまれ。琉球(西表島)……………ナナホシメツブテントウ *N. amabilis* (H. KAMIYA)

13. キアシクロヒメテントウ *Stethorus japonicus* H. KAMIYA
 1.2-1.5mm. 体長は体幅の約1.3倍, 上翅の点刻は細かく均一. 他の無紋のヒメテントウ類に似るが, 弧状に張り出した前胸腹板前縁で区別される. ハダニの捕食虫として重要. 北海道, 本州, 四国, 九州, 対馬, 甌島. (*Stethorus* 亜属).
- D 近縁のツツイクロヒメテントウ *S. (S.) aptus tsutsui* NAKANE et M. ARAKI は上翅点刻がやや疎で, 琉球.
14. ナガクロヒメテントウ *Stethorus yezoensis* MIYATAKE
 1.4-1.7mm. 体長は体幅の約1.5倍, 上翅の点刻は粗く不均一. 北海道. (*Allostethorus* 亜属).
- 体形の似たエグリクロヒメテントウ *S. (Parastethorus) emarginatus* MIYATAKE は♂の腹部末端節がえぐられる. 本州, 四国.
15. ツマアカオオヒメテントウ *Cryptolaemus montrouzieri* MULSANT
 3.8-4.2mm. 前胸腹板の形状で容易に識別される. オーストラリア原産で, コナカイガラムシの天敵として世界各地の暖地に移入定着しており, 日本近辺では小笠原; 台湾, 中国に分布する.
16. ハレヤヒメテントウ *Pseudoscymnus hareja* (WEISE)
17. セボシヒメテントウ *Pseudoscymnus seboshii* (OHTA)
18. イツホシヒメテントウ *Pseudoscymnus quinquepunctatus* (WEISE)
19. クビアカヒメテントウ *Pseudoscymnus sylvaticus* (LEWIS)
20. オオヒメテントウ *Pseudoscymnus pilicrepus* (LEWIS)
21. リュウキュウヒメテントウ *Pseudoscymnus kurohime* (MIYATAKE)
22. ナガサキヒメテントウ *Pseudoscymnus nagasakiensis* (H. KAMIYA)
23. オオツカヒメテントウ *Pseudoscymnus ohtukai* SASAJI

ニセヒメテントウ属 *Pseudoscymnus* の種の検索表

1. 上翅は翅端以外に黄色部分がある…………… 2
 — 上翅はほとんど黒色か, 翅端だけが淡色…………… 5
2. 上翅は黄色で肩部, 中央, 後側部に合計5つの黒紋があるが, まれに互いに融合することがある. 前胸背板は黄色で, 中央に黒紋を有することがある. 1.6-2.3mm …………… イツホシヒメテントウ
- a. 上翅肩部黒紋はまるく, 側縁に達することはない. 琉球 (八重山諸島以南); 台湾…基亜種
- b. 上翅肩部黒紋は大きく, 上翅の側縁及び基縁に達する. 琉球 (奄美大島, 沖縄本島) …… 沖縄亜種 *P. q. okinawanus* H. KAMIYA
- 上翅は黒色で黄紋がある. もし上翅の地色が黄色のときは, 黒色部は上記のようでない… 3
3. 前胸背板は黄色の前縁以外は黒色. 上翅は黒色で後方にハート形の黄紋がある. 腹面は大部

- 分が黒色で、肢は橙黄色。1.5-1.6mm、まれ、九州 …………… オオツカヒメテントウ
- 前胸背板は黄色で黒色の場合は上翅黄紋は左右明らかに分離する…………… 4
4. 上翅中央に大形円形の橙黄紋があり、会合線で分離することはない、翅端も橙黄色。2.2mm、少ない、本州、四国、九州…………… セボシヒメテントウ
- 上翅中央に1対の橙黄紋があり、翅端部も橙黄色。上翅黄紋が左右融合することがあるが、その場合は上翅基部、側縁と会合線の前半が黒色。前胸背板は橙黄色であるが、まれに黒化することがある。1.9-2.5mm、カイガラムシ類の天敵として重要、ふつう、北海道～屋久島；台湾…………… ハレヤヒメテントウ
5. 前胸背板は橙黄色。上翅は黒色で翅端部がかなり広く橙黄色。2.3-2.7mm、かなりふつう、本州、四国、九州、対馬；朝鮮半島…………… クビアカヒメテントウ
- 前胸背板は大部分が黒色で前縁が狭く淡色か、完全に黒色…………… 6
6. 大型で2.7-3.0mm、上翅後方は強く狭まる。上翅端は明らかに橙黄色。上翅被毛は強く複雑に波曲し、見方によっては後方に白帯を形成する。少ない、北海道、本州、四国、九州、対馬…………… オオヒメテントウ
- 2.5mm以下、体形はふつう、上翅被毛配列は正常なS字形かほぼ直線状…………… 7
7. 翅端部は明らかに橙黄色。肢は赤褐色。前胸背板は黒色で前縁は狭く淡色。2.1-2.3mm、まれ、本州、九州…………… ナカネヒメテントウ *P. nakanei* (M. ARAKI)
- 翅端部はきわめて狭く淡色となることがあるが、ほとんど黒色、肢は少なくとも腿節が黒色…………… 8
8. 上翅被毛は強く波曲したS字形に配列する。中型で1.7-2.2mm、ふつう、琉球；台湾、中国、インドシナ半島、ミクロネシア…………… リュウキュウヒメテントウ
- 上翅被毛はきわめてゆるやかなS字形かほとんど直線状に配列する…………… 9
9. 背面は完全に黒色。1.5-1.6mm、琉球には少なくない、本州、四国、九州、琉球；台湾…………… ナガサキヒメテントウ
- 前胸背板前縁と上翅後縁がきわめて狭く淡色。1.5-1.8mm、まれ、本州、四国、九州…………… ルイスヒメテントウ *P. lewisi* (H. KAMIYA)

24. ネアカヒメテントウ *Axinoscymnus beneficus* H. KAMIYA

1.6-1.8mm、頭、前胸、上翅基部、体下面、肢は黄褐色、トゲコナジラミの天敵、琉球(奄美大島、沖縄本島、石垣島)；台湾。

25. クロバナヒメテントウ *Axinoscymnus nigripennis* H. KAMIYA

1.5-1.7mm、前種に似ているが、上翅基部も黒色、琉球(沖縄本島、西表島)；台湾。

26. ライヒメテントウ *Axinoscymnus rai* H. KAMIYA

1.6-1.7mm、上翅は側方だけが暗色、まれ、琉球(沖縄本島)。

27. フタスジヒメテントウ *Horniolus fortunatus* (LEWIS)

3.0-3.2mm、上翅赤斑は明らかに波状、前胸背板は黒く、赤紋がある、まれ、北海道、本州、四国、九州。

28. アマミフタスジヒメテントウ *Horniolus amamensis* MIYATAKE

2.2-2.4mm、前胸背板はほとんど黒色、上翅淡色紋は軽く波状、琉球(奄美大島)。

近縁のキュウシュウフタスジヒメテントウ *H. kyushuensis* MIYATAKE はやや細い、九州(南部)。

29. オキナワフタスジヒメテントウ *Horniolus okinawensis* CHÛJÔ et MIYATAKE
 1.9-2.6mm. 前胸が赤褐色で、上翅紋は黄色く、前紋はY字形。琉球（沖縄本島）。

第41図版

1. カイヒメテントウ *Nephus kaiensis* (H. KAMIYA)
2. ヨツモンヒメテントウ *Nephus yotsumon* (H. KAMIYA)
3. アトホシヒメテントウ *Nephus phosphorus* (LEWIS)
4. オシマヒメテントウ *Nephus oshimensis* SASAJI
5. オガサワラヒメテントウ *Nephus boninensis* SASAJI
6. セスジヒメテントウ *Nephus patagiatus* (LEWIS)
7. ニセセスジヒメテントウ *Nephus tagiapatius* (H. KAMIYA)
8. リウキュウナガヒメテントウ *Nephus ryukyensis* SASAJI

ホソヒメテントウ属 *Nephus* の種の検索表

1. 背面は黒色で淡色紋を有しない。体下も黒色であるが脛、跗節は黄褐色…………… 2
- 背面は淡色紋を有するか、地色が淡色。背面が黒色の場合は脛節も黒色…………… 3
2. 腹部第1節の腿節線側端は基方に反曲する。1.6mm. まれ。本州、四国……………
- …………… ヨツモンヒメテントウ *N. kompirasanus* (H. KAMIYA)
- 腹部第1節の腿節線側端は直線状。1.6mm. まれ。本州…………… カイヒメテントウ
3. 上翅各翅に前後に並んだ2つの小赤紋を有する。前胸背板、体下、各肢は黒色。きわめてまれに上翅赤紋が消失することがある。1.9-2.1mm. 少ないが樹皮下で越冬中のものがしばしば採集される。本州、九州…………… ヨツモンヒメテントウ
- 上翅各翅に1つの淡色紋を有するか、地色が淡色…………… 4
4. 体形は方形に近く、側縁は中央部ではほぼ平行、かなり扁平。上翅紋は黄褐色で方形か、地色が黄褐色…………… 5
- 体形は楕円形で、側縁は明らかに弧状で、背面は膨隆する。上翅紋は円形か長円形で赤褐色で後方に位置する。翅端はきわめて狭く淡色となることがあるが、通常黒色…………… 7
5. 前胸背板は橙黄色で、まれに基部に暗色紋がある。上翅は黄褐色で基部から合合線にかけて黒色。体長は幅の約1.6倍。1.3-1.8mm. 琉球（宮古島、石垣島、西表島）；台湾、マレー半島、アンダマン諸島、インド…………… ニセセスジヒメテントウ
- 前胸背板は黄褐色で基部に黒紋を有するか、完全に黒色。上翅は通常外縁が黒色…………… 6
6. 細長く体長は幅の1.75倍以上。上翅は黒色で、黄褐色紋は上翅長の半分以下。1.7-2.2mm. 琉球（奄美諸島、沖縄本島、八重山諸島）…………… リウキュウナガヒメテントウ
- 体長は幅の約1.7倍。上翅の黄褐色紋は大きく、通常翅長の $\frac{2}{3}$ を占め、翅端も多少とも淡色。1.5-1.9mm. 普通種。本州、四国、九州、五島列島、種子島…………… セスジヒメテントウ
7. 九州以北に分布。上翅赤紋が中央より前にまたがる場合は $\frac{1}{2}$ の前胸背板に淡色部がある……………
- 琉球または小笠原諸島。上翅赤紋前縁はふつう中央より前に出る。前胸背板に淡色部はない

- 9
8. 触角, 口器, 腿節は暗黒褐色, 前胸背板はほとんど黒色, 上翅赤紋は小さい, 1.7-2.3mm, 普通種. オオワタコナカイガラムシの天敵. 北海道, 本州, 四国, 九州, 対馬; 朝鮮半島..... アトホシヒメテントウ
- 触角, 口器は橙褐色, 腿節は♂では完全に橙褐色で♀では褐色で先端が淡色, 前胸背板は黒く, ♀では明瞭な淡色部がある, 1.4-2.0mm, 少ない, 本州 オシマヒメテントウ
9. 太短く, 体長は幅の1.4倍以下, 1.4-1.7mm, 小笠原..... オガサワラヒメテントウ
- 細長く, 体長は幅の1.4倍以上, 1.9mm, 琉球 (奄美諸島, 沖縄本島, 宮古島); 中国 リュウグウヒメテントウ *N. ryuguus* (H. KAMIYA)
9. トビイロヒメテントウ *Scymnus paganus* LEWIS
2.2-2.7mm, 全体褐色~黄褐色で被毛は黄色, 多くない, 本州, 四国, 九州, (9~12は *Scymnus* 亜属).
10. クロスジヒメテントウ *Scymnus nigrosuturalis* H. KAMIYA
2.2mm, 前胸背板中央基部, 上翅会合線部と側縁部が黒~暗色であるが, その発達程度には変化がある, 体は黒褐色で, 腹部の周辺部は淡色, 本州, 琉球 (奄美大島, 沖縄諸島, 宮古島, 八重山諸島), 小笠原, 硫黄島; 台湾, マリアナ諸島, マーシャル諸島.
11. ハマベヒメテントウ *Scymnus marinus* H. KAMIYA
1.7-2.3mm, 頭部, 口器, 触角, 腿節は黄~赤褐色, 沖ノ島 (福岡県), 甌島.
近縁のミヤモトヒメテントウ *S. (S.) miyamotoi* NAKANE は, 上翅赤紋が連続する. 五島列島, 琉球 (トカラ中之島).
12. ツシマクロヒメテントウ *Scymnus tsushimaensis* SASAJI
2.1-2.5mm, コクロヒメテントウ (28) やその近縁種に色彩はよく似ているが, 腿節線が不完全なことで区別できる. 対馬; 朝鮮半島.
13. キイロヒメテントウ *Scymnus syoii* SASAJI
(13~28は *Pullus* 亜属.)
14. カグヤヒメテントウ *Scymnus kaguyahime* H. KAMIYA
15. セダカヒメテントウ *Scymnus vencoxus* H. KAMIYA
16. キモトヒメテントウ *Scymnus kimotoi* H. KAMIYA
17. ツマアカヒメテントウ *Scymnus dorcatomoides* WEISE
18. オオタツマアカヒメテントウ *Scymnus rectus* (OHTA)
19. ナガヒメテントウ *Scymnus ruficeps* (OHTA)
20. バイゼヒメテントウ *Scymnus contemptus* (WEISE)
21. ハトマヒメテントウ *Scymnus hatomensis* H. KAMIYA

第41図版

22. オニヒメテントウ *Scymnus giganteus* H. KAMIYA
 23. クロヒメテントウ *Scymnus japonicus* WEISE
 24. チュウジョウヒメテントウ *Scymnus chujoi* SASAJI
 25. タカバヤシヒメテントウ *Scymnus takabayashii* (OHTA)
 26. カワムラヒメテントウ *Scymnus kawamurai* (OHTA)
 27. タイワンヒメテントウ *Scymnus sodalis* (WEISE)
 28. コクロヒメテントウ *Scymnus posticalis* SICARD

ヒメテントウ属 *Scymnus* (*Pullus*) 亜属の種の検索表

1. 背面は一様に橙黄色……………2
 — 背面は暗色または黒色部を有する……………3
 2. 小型で1.1-1.5mm, 小笠原以外ではまれ, 本州, 九州, 小笠原……………キロヒメテントウ
 — 中型で1.9mm, まれ, 琉球(トカラ列島)……………
 ○ ……………タカラヒメテントウ *S. (P.) takaraensis* NAKANE et M. ARAKI
 3. 背面は黒色で, 上翅に2対の赤紋を有する, 1.7mm, まれ, 北海道……………サッポロヒメテントウ *S. (P.) sapporensis* (OHTA)
 — 背面の色彩は上記のようでない……………4
 4. 前胸背板は橙褐色, 例外的に基部に暗色斑を有することがある……………5
 — 前胸背板は黒色か, 橙褐色で明らかな黒色基斑を有する……………11
 5. 上翅は黄褐色で, 基縁, 会合線部前半, 側縁部が黒色, 1.4-1.7mm, まれ, 琉球(八重山諸島)
 ……………キモトヒメテントウ
 — 上翅は黒色で翅端部が淡色……………6
 6. 上翅端の淡色部は広く, 上翅長の $\frac{2}{3}$ に達し, その前縁は強く弧状で, 会合部および側縁に沿って狭まる, 1.3-1.7mm, まれ, 琉球(八重山諸島)……………ハトマヒメテントウ
 — 上翅端の淡色部は $\frac{1}{2}$ に達しないか, その前縁はほぼ直線状……………7
 7. 体形は比較的まるく, 長さは幅の1.50以下, 頭楯前縁は湾入する……………8
 — 体形は細長く, 長さは幅の1.50以上, 頭楯前縁は直線状か, わずかに湾入する……………9
 8. 上翅端淡色部は広く, 上翅長の約 $\frac{1}{2}$, その前縁境界は不明瞭でほぼ直線状, 腹部は全体赤褐色, 1.8-2.1mm, 少ない, 本州(近畿以南), 四国, 九州, 天草島, 甕島, 琉球(奄美大島, 沖縄本島, 八重山諸島); 台湾……………バイゼヒメテントウ
 — 上翅端淡色部は上翅長の $\frac{1}{4}$ より狭く, その前縁境界は明瞭で, 前方に弧状に突出する, 腹部基部は黒色, 1.5-1.8mm, 多くない, 四国, 九州, 対馬……………オオタツマアカヒメテントウ
 9. 琉球産, 上翅点刻はやや強い, ♀交尾器の側片は中片より明らかに短い, 1.7-2.0mm, 琉球(中之島, 奄美大島, 沖縄本島, 八重山諸島)……………
 ……………ミヤタケヒメテントウ *S. (P.) miyatakei* H. KAMIYA
 — 九州以北産, 上翅点刻は上記種より弱い, ♀交尾器側片は中片より長い……………10
 10. 眼の内縁は下半において弱いが明らかに弧状, ♂の腹部第5節後縁は弱く弧状, ♀交尾器の中片は細く, 両側は基半において平行, 1.8-2.2mm, ふつう, 北海道, 本州, 四国, 九州, 千島, 佐渡, 五島列島……………ツマアカヒメテントウ
 — 眼の内縁は下半においてほぼ平行, ♂の腹部第5節後縁は比較的強く弧状, ♀交尾器の中片

- は幅広く、両側は基半において弧状、1.7-2.3mm。ふつう、北海道、本州、四国、九州、佐渡
 ……ニセツマアカヒメテントウ *S. (P.) rectoides* SASAJI
11. 上翅は黒色か黒褐色で、各翅に淡色の縦条がある。上翅縦条が明瞭でない場合は、腿節が太い……………12
- 上翅は黒色で翅端だけが淡色か、まったく黒色……………13
12. 背面はひじょうに強く膨隆し、腿節は太い。背面は黒褐色で、前胸背板前半と各上翅中央縦条が不明瞭に淡色。1.6-1.7mm。まれ。本州、四国、九州……………セダカヒメテントウ
- 背面は比較的弱く膨隆。腿節はふつう。上翅は黒色で、各翅中央に大きく縦長の赤斑がある。前胸背板は黒く前方が淡色か、淡色で基部に黒斑がある。1.5-1.9mm。少ない。本州、四国、九州、甌島……………カグヤヒメテントウ
13. 小型で、1.5-1.7mm。前胸腹板縦隆線は広く隔てられる。前胸背板は黒く前角と狭い前縁が淡色。上翅は黒く、翅端はきわめて狭く不明瞭に淡色。肢は黄褐色。まれ。本州、九州……………アラキヒメテントウ *S. (P.) puellaris* M. ARAKI
- 中、大型で、通常2mm以上。前胸腹板縦隆線は少なくとも前縁で狭く隔てられる……………14
14. 背面はまったく黒色。上翅被毛は細かく、複雑な多くの波状に配列する。大型で、2.8-3.5mm。多くない。本州、四国、九州、対馬；インドシナ半島……………オニヒメテントウ
- 前胸背板前縁または翅端に多少とも淡色部がある。上翅被毛の配列は比較的単調……………15
15. 上翅被毛配列は翅端部を除けばほとんどまっすぐ。小型で長く、1.6-2.1mm。長さは幅の1.5倍以上。前胸背板前縁と翅端部が不明瞭に暗褐色。少ない。北海道、本州、九州；朝鮮半島……………ナガヒメテントウ
- 上翅被毛配列はS字形。中、大型……………16
16. 前胸背板に明らかな橙黄色部があり、通常は橙黄色で小楯板前に黒斑を有し、かつ翅端の淡色部は比較的広く明瞭。肢は橙褐色。上翅の会合線に沿った点刻列はみとめられないか不明瞭……………17
- 前胸背板に明らかな淡色部がないか、上翅端の淡色部がきわめて細い。色彩が上記とまぎらわしい場合は、上翅に会合線に沿った明瞭な点刻列がみとめられる……………19
17. 上翅被毛の配列は弱く波曲したS字形。陰茎先端には長く鉤状物をともなった付属片を有する。2.4-3.1mm。少なくない。本州、四国、九州；朝鮮半島、中国……………クロヒメテントウ
- 上翅被毛の配列は強く波曲したS字形。陰茎先端付属片は小さく糸状……………18
18. 体の前方および後方は強く狭まり、側縁は中央部において強く弧状。上翅被毛は細かく密。2.5-3.0mm。少ない。本州、九州……………チュウジョウヒメテントウ
- 体の後方は広く半円形で、前胸背板の前方への狭まりは強くなく、体の側縁は中央部において平行に近い。上翅被毛は粗く疎。2.5mm。まれ。本州、九州……………
- ……オオサカヒメテントウ *S. (P.) osakaensis* (M. ARAKI)
19. 上翅端の淡色部は明瞭で、その前縁境界は前方に弧状に突出する。上翅被毛は強く波曲したS字形。上翅会合線近くに点刻列を有する。前頭はみでは淡色で、♀では黒色。1.9-2.8mm。きわめてふつう。北海道、本州、四国、九州、佐渡、伊豆諸島、対馬、五島列島、甌島、天草島、屋久島；朝鮮半島、ビルマ……………クロヒメテントウ
- 上翅端の淡色部は狭く、その前縁は前方に弧状に突出しない。ほとんど淡色部がみとめられない場合もある……………20
20. 大型(2.8-3.0mm)で、側縁は中央部において弱く弧状。上翅被毛の配列は弱いS字形。上翅の会合線近くに点刻列を欠く。前頭は♂では淡色で、♀では黒色。腿節に通常黒色部がある。ふつうであるが多くはない。本州、四国、九州、対馬……………タカバヤシヒメテントウ
- 中型。側縁は強く弧状。上翅被毛は強いS字形。上翅の会合線近くに点刻列がある。前頭と肢はつねに赤褐色……………21

21. 前胸背板は黒く、通常側縁と前縁は狭く淡色、翅端淡色部はきわめて狭い、1.8-2.6mm、きわめてふつう。北海道、本州、四国、九州、佐渡、対馬、五島列島、甌島；中国……………カワムラヒメテントウ
- 前胸背板は赤褐色で基部に黒斑がある。翅端淡色部は狭いが明瞭、1.7-2.4mm、ふつう。琉球（トカラ列島、奄美大島、沖縄本島、八重山諸島）；台湾、中国、インドシナ半島……………タイワンヒメテントウ

ヒメテントウ族の属および亜属の検索表

1. 前胸腹板の基腹板の縦の長さは幅の $\frac{1}{2}$ より長く、口器をおおう（40図版15）……………オオガタヒメテントウ属 *Cryptolaemus*
- 前胸の基腹板の縦の長さは幅の $\frac{1}{2}$ より短い……………2
2. 前胸腹板には逆Y字状の隆起線がある。腹部第1節の腿節線は完全（40図版27~29）……………フタスジヒメテントウ属 *Horniolus*
- 前胸腹板に隆起線があってもY字状でない……………3
3. 附節は3節……………4
- 附節は隠4節。前胸腹板は正常なT字形で、通常隆起線がある……………ヒメテントウ属 *Scymnus*
- a. 触角は10節、腿節線は完全……………b
- 触角は11節。前胸腹板に1対の縦隆線がある。腿節線は完全または不完全で、腿節線に囲まれた部分の点刻密度は不均……………c
- b. 前胸腹板に1対の縦隆線がある。腿節線に囲まれた部分は通常密で均一に点刻される（42図版1~4）……………*(Neopullus)* 亜属
- 前胸腹板に縦隆線を欠く。腿節線に囲まれた部分の点刻は不均……………*(42図版5)*
- c. 腿節線は不完全（41図版9~12）……………*(Scymnus)* 亜属
- 腿節線は完全（41図版13~28）……………*(Pullus)* 亜属
4. 前胸腹板突起は幅広く、短く、基腹板側部は基節の前において狭い。眼は大きく、内方は明らかにえぐられる。小あごひげ末端節は幅よりも短いか、または先方にひろがる……………5
- 前胸腹板は正常なT字形で、基腹板側部は腹板突起の幅とほぼ同等の縦の長さがある。眼は通常の大きさか小さく、明らかなえぐれはない。小あごひげ末端節は通常細長く、先方に細くなるか、ほぼ平行……………6
5. 触角はひじょうに短く、9節からなり、基部2節は大きい。腹部第1節の腿節線は不完全。肢は比較的太い（40図版16~23）……………ニセヒメテントウ属 *Pseudoscymnus*
- 触角は眼の間隔より長く、11節からなり。腹部第1節の腿節線は不完全。肢はひじょうに細い（40図版24~26）……………オノヒゲヒメテントウ属 *Axinoscymnus*
6. 腹部第1節の腿節線は完全。前胸腹板に平行する隆起線がある。頭は張り出した前胸背板におおわれて背面からみえない（トサヒメテントウ *K. tosaensis* SASAJI は1.3mm、黒褐色で、各上翅中、後方は赤褐色。まれ。本州、四国）……………トサヒメテントウ属 *Keiscymnus*
- 腹部第1節の腿節線は不完全。前胸腹板に隆起線を欠く。頭は背面からみえる（41図版1~8）……………ホソヒメテントウ属 *Nephus*

29. クロヘリヒメテントウ *Scymnus hoffmanni* WEISE

30. カバイロヒメテントウ *Scymnus fuscatus* BOHEMAN

(29, 30および42図版1~4は *Neopullus* 亜属)。(検索表は257頁)。



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12



13



14



15



16



17



18



19



20



21



22



23



24



25



26



27



28



29



30

PLATE 42



1. ヤマトヒメテントウ *Scymnus yamato* H. KAMIYA
2. オオタヒメテントウ *Scymnus ohtai* SASAJI
3. ババヒメテントウ *Scymnus babai* SASAJI
4. オトヒメテントウ *Scymnus otohime* H. KAMIYA

ヒメテントウ属 *Scymnus* (*Neopullus*) 亜属の種の検索表

1. 上翅被毛は明瞭に波曲したS字形。腹部第1節の腿節線に囲まれた部分の点刻は密でかつ均一……………2
 - 上翅被毛は翅端部を除いてまっすぐ後方に向かう。腹部第1節の腿節線に囲まれた部分の点刻は均一でなく、少なくとも後方では疎……………6
 2. 上翅はひじょうに狭い翅端を除いてまったく黒色。前胸背板は黒色で側縁と前縁が淡色か、橙黄色で小楯板前に黒斑がある。肢はつねに淡橙褐色。体形はやや扁平。1.8-2.5mm。ヨシ湿原でしばしばふつう。本州、四国、九州、対馬；朝鮮半島、中国……………ババヒメテントウ
 - 上翅は黒色で淡色の縦条があるか、地色が褐色。上翅がほとんど黒色の場合は、上翅の点色がきわめて密か、上翅後方が不鮮明に褐色……………3
 3. かなり扁平で細長く、長さは幅の1.65倍以上。前胸背板側縁は基部においてほぼ平行。上翅点刻はきわめて密。暗褐色で上翅に不明瞭な縦条があるが、色彩変異がいちじるしい。2.3-3.0mm。ヨシ湿原でときに多産。本州、四国、九州、対馬、琉球（石垣島）；中国……………ヤマトヒメテントウ
 - 背面はやや強く膨隆し、長さは幅の1.65倍以下。前胸背板側縁はゆるやかに弧状。上翅点刻はきわめて密でない……………4
 4. 上翅被毛は長く細く黄色を帯び、比較的ゆるやかなS字形に配列する。体下は褐色で、肢よりもやや淡色。1.9-2.3mm。暖地ではかなりふつう。色彩変異が多い。本州、四国、九州、琉球；台湾、朝鮮半島、中国、東南アジア……………カバイロヒメテントウ
 - 上翅被毛は比較的短く粗くほとんど白色で、強く波曲したS字形に配列する。中、後胸腹板は通常黒く、少なくとも褐色または黄褐色の肢よりも明らかに濃い……………5
 5. 上翅は黒色で、各翅に赤い縦条があるが、その幅には変化がある。前胸背板は強く弧状に前方に狭くなる。1.5-2.3mm。ふつう。本州、四国、九州、琉球；朝鮮半島、中国、インドシナ半島……………クロヘリヒメテントウ
 - 上翅は黒色で、翅端近くが不鮮明に暗褐色。前胸背板はゆるやかに前方に狭くなる。1.9-2.0mm。少ない。北海道、本州；インドシナ半島……………オオタヒメテントウ
 6. 細長く、長さは幅の1.65倍。背面は黒く、各上翅中央に大きく縦長の赤斑がある。1.9mm。対馬。きわめてまれで基準標本以外知られていない……………ツシマアカスジヒメテントウ *S. (N.) taishuensis* SASAJI
 - 卵形で、長さは幅の約1.5倍。背面は黒く、上翅の後側方に小さく長卵形の赤紋がある。1.4-1.6mm。クリイガアブラムシの天敵。本州、四国、九州、対馬、五島列島……………オトヒメテントウ
5. アイヌノヒメテントウ *Scymnus pirikamenoko* H. KAMIYA
- 1.6-1.7mm。前胸背板の前、側縁部と上翅の先端 $\frac{2}{3}$ は赤褐色であるが、その境界は不明瞭。体下面は黒く、腹部の周辺部は淡色。脛、跗節は褐色。まれ。北海道。（*Nipponopullus* 亜属）。

第42図版

6. ツマフタホシテントウ *Hyperaspis asiatica* LEWIS

2.6-3.3mm. 次種とは上翅斑紋の位置で区別される。本属のみは頭部と前胸背板側方が淡黄色、本種では♀も狭く黄色、少ない。本州、四国、九州、対馬；朝鮮半島、シベリア。

7. フタホシテントウ *Hyperaspis japonica* (CROTCH)

2.0-3.1mm. 斑紋の類似した小型テントウとは背面の被毛を欠くことで容易に区別される。普通種。コナカイガラムシ類の天敵として重要。北海道、本州、四国、九州、対馬、五島列島；シベリア。

8. ババホシナシテントウ *Hyperaspis babai* H. KAMIYA

3.4-3.5mm. 上翅と体下面は完全に黒色。まれ。本州、対馬。

9. ギョウトクテントウ *Hyperaspis gyotokui* H. KAMIYA

2.7-3.2mm. 上翅に3対の橙黄紋がある。きわめてまれ。九州；朝鮮半島。

10. アミダテントウ *Amida tricolor* (HAROLD)

4.0-4.6mm. 特異な斑紋は安定している。幼虫、成虫ともにアオバハゴロモの幼虫を捕食する。本州（福井県以南）、四国、九州、五島列島、甌島；台湾、インドシナ半島。

11. クロテントウ *Telsimia nigra* (WEISE)

チビクチビルテントウ族には日本に1属4種を産し、背面はいずれも黒～黒褐色で、ヒメテントウ類とは眼の前方に張り出した頭楯の形で容易に区別できるが、種の同定はむずかしい。マルカイガラムシ類の天敵として重要。

チビクチビルテントウ属 *Telsimia* の種の検索表

1. 腿節は黒褐色、脛節は暗褐色、上翅被毛は多少とも波曲したS字形に配列、1.5-2.1mm、普通種。マルカイガラムシ類の天敵。北海道、本州、四国、九州、淡路島、対馬、五島列島、天草島、甌島、種子島、屋久島、琉球（中之島）；台湾、中国、フィリピン（？）……………クロテントウ
- 肢は黄褐～赤褐色、上翅被毛は後方～後側方に向かって配列する……………2
2. ♀交尾器包片の中片の先端は深くえぐられる。1.4-1.9mm、小笠原；ミクロネシア……………オガサワラクロテントウ *T. nilida* CHAPIN
- ♀交尾器包片の中片先端はえぐられずとがる……………3
3. 背面の点刻は細かく疎。♂交尾器の中片は基部幅の3倍の長さがある。1.3-1.8mm、九州（南端部）、屋久島、琉球（中之島、奄美大島、沖縄本島、八重山諸島）……………チュウジョウクロテントウ *T. chujoii* MIYATAKE
- 背面の点刻は強く密。♂交尾器の中片は基部幅の4倍の長さがあり、扁平、1.5-1.8mm、少ない。九州、対馬、平戸島、天草島、甌島……………ナガサキクロテントウ *T. nagasakiensis* MIYATAKE

12. フタモンクロテントウ *Cryptogonus orbiculus* (GYLLENHAL)

2.1-2.8mm. 前胸腹板隆起線は前縁に達しない。前頭は♂では黄色で、♀では黒色。中、後腿節はふつう暗褐色。琉球以南では上翅の色彩変異がある。暖地ではふつう。本州、四

国, 九州, 対馬, 五島列島, 甌島, 屋久島, 琉球 (ほとんど全島); 朝鮮半島, 中国, 台湾, 東南アジア各地, インド, スリランカ, ミクロネシア.

13. ヒメフタモンクロテントウ *Cryptogonus horishanus* (OHTA)

1.5-2.4mm. 前胸腹板隆起線は前縁に接する. 前頭は♂♀ともに黄色. 腿節は黒色. 屋久島, 琉球 (ほとんど全島); 中国, 台湾, インドシナ半島.

14. ヨツボシテントウ *Phymatosternus lewisii* (CROTCH)

2.9-3.7mm. 上翅は各翅周辺が黒く, 2対の黒紋をもつものがふつうであるが, まれに小楯板わきの小赤紋を残して黒化することがある. 本州, 四国, 九州, 対馬; 朝鮮半島, 中国, 台湾, ビルマ, インド.

15. アカホシテントウ *Chilocorus rubidus* HOPE

16. ミカドテントウ *Chilocorus mikado* LEWIS

17. ヒメアカホシテントウ *Chilocorus kuwanae* SILVESTRI

18. エサキアカホシテントウ *Chilocorus esakii* H. KAMIYA

19. アマミアカホシテントウ *Chilocorus amamensis* H. KAMIYA

20. イシガキアカホシテントウ *Chilocorus ishigakensis* H. KAMIYA

アカホシテントウ属 *Chilocorus* の種の検索表

1. 上翅は黒色で無紋, 体下面は赤色. 3.9-4.1mm. まれ. 九州ミカドテントウ
 - 上翅に赤色部がある 2
 2. 上翅に縦長の赤紋があるか, 赤色で周縁部が黒色, 胸部下面は赤褐色. 5.8-7.2mm. タマカイガラムシ類の天敵で群生することがある. 北海道, 本州, 四国, 九州, 佐渡; 朝鮮半島, 中国, シベリア, ネパール, セレベス, オーストラリアアカホシテントウ
 - 上翅に円形か横長の赤紋がある. 胸部下面は黒色. 5mm以下 3
 3. 上翅斑紋は小さい. 前頭の点刻間表面は鯨肌状. 3.3-4.9mm. 各種カイガラムシ類の有力な天敵. 北海道, 本州, 四国, 九州, 佐渡, 対馬, 天草島, 五島列島; 朝鮮半島, 中国, サハリンヒメアカホシテントウ
 - 上翅斑紋は大きい. 前頭の点刻間表面は平滑 4
 4. 前胸背板側方は細かく点刻され, 鯨肌状の部分がない. 上翅斑紋はやや小さい. 2.6-3.7mm. 琉球 (宮古島, 石垣島, 西表島)イシガキアカホシテントウ
 - 前胸背板側方の点刻は強く, 鯨肌状の部分がある. 上翅斑紋は大きい 5
 5. 九州 (南端部) に分布. 3.2-3.8mmエサキアカホシテントウ
 - 琉球 (トカラ列島) に分布. 3.5-3.9mmタカラアカホシテントウ *C. takara* NAKANE et M. ARAKI
 - 琉球 (奄美諸島, 沖縄本島) に分布. 3.0-4.0mmアマミアカホシテントウ
21. イセテントウ *Arawana isensis* (H. KAMIYA)
- 3.5mm. 頭頂と前頭上半が黒褐色で, 頭楯側方が暗色のほかは全体淡黄色. 頭楯の眼前部

第42図版

は短い、触角は9節、脛節外縁は角ばらない、本州（三重県から1頭採集されたのみ）。

- 22. ベニヘリテントウ *Rodolia limbata* (MOTSCHULSKY)
- 23. アカヘリテントウ *Rodolia rufocincta* LEWIS
- 24. アカイロテントウ *Rodolia concolor* (LEWIS)
- 25. ベタリアテントウ *Rodolia cardinalis* (MULSANT)
- 26. ダイダイテントウ *Rodolia pumila* WEISE

ベタリアテントウ族（日本には *Rodolia* 属のみ）の種の検索表

- 1. 上翅は赤1色……………2
- 上翅は2色か、ほとんど黒色……………3
- 2. 背面は暗赤色、頭部、後胸、肢は黒褐色、体の中央より少し前で最大幅、3.5-5.7mm、普通種、本州、四国、九州、対馬……………アカイロテントウ
- 背面は明橙赤色、頭部、後胸、肢は暗赤色、上翅の基部近くでもっとも幅広く後方に強く狭まる、3.0-3.9mm、琉球（奄美大島、沖縄本島、宮古島、八重山諸島）、小笠原；台湾、中国、ミクロネシア……………ダイダイテントウ
- 3. 上翅は黒く、赤く縁どられるか、大部分が黒色……………4
- 上翅は赤色で黒紋がある……………5
- 4. 上翅は黒く、周縁部と会合部がやや幅広く赤色、3.9-5.4mm、オオワラジカイガラムシの天敵、本州、四国、九州、対馬、五島列島；朝鮮半島、中国、シベリア……………ベニヘリテントウ
- 上翅は黒く、周縁部だけがきわめて細く赤色、4.0-5.6mm、少ない、本州、四国、九州……………アカヘリテントウ
- 5. 上翅の会合部は黒く、ふつう中央でひろがり、ほかに2対の黒紋があり、その後紋は外縁に達することがある、3.3-3.8mm、イセリアカイガラの天敵として有名で、世界各国に移入されて定着している、本州、四国、九州、対馬、五島列島、琉球（沖縄本島）；台湾、中国、オーストラリア、ヨーロッパ、北アメリカ……………ベタリアテントウ
- 上翅は2～3対の独立した黒紋があり、会合部はつねに赤い、4.3mm、九州（？）；台湾、中国……………ヨツボシヒラタテントウ *R. quadrimaculata* MADER

テントウムシ族の属の検索表

- 1. 体は長卵形で背面は弱くふくらむ、前胸背板は中央か、中央より少し後方で最大幅……………2
- 体は短卵形か半球形で背面はふつう強くふくらむ、前胸背板は基部近くで最大幅……………3
- 2. 前胸背板前縁は弱く弧状にくぼむ、腿節線は不明瞭……………
- ……………ジュウサンホシテントウ属 *Hippodamia*
- 前胸背板前縁は台形にくぼむ、腿節線は完全……………ジュウクホシテントウ属 *Anisosticta*
- 3. 上翅基部は前胸背板よりはるかに幅広い、上翅側片は完全でその内縁は翅端に達し、体幅の1/2より広く、強く下方に傾斜する、触角は眼間距離より長い……………4
- 上翅基部は前胸よりわずかに広いか、広くない、上翅側片は体幅の1/2より狭いか、または内縁が翅端に達しない、上翅側片は通常強く下方に傾斜しない……………10
- 4. 前胸背板は側縁に沿って多少ともくぼむ、前胸上側板に円形のくぼみはない、体長8mm以上……………5
- 前胸背板は側縁に沿ってくぼまない、前胸上側板の前内角は円形にくぼむ、体長はふつう8mm以下……………8

5. 上翅側縁は広く平圧され、縁どられない……………6
 — 上翅側縁は縁どられ、平圧部はあまり広くない……………ナミテントウ属 *Harmonia* (一部)
6. 頭楯の前縁は弧状にえぐられる、上翅は黒色地に亀甲状の赤紋があるか、全体黒色……………
 ……………カメノコテントウ属 *Aiolocaria*
 — 頭楯の前縁は直線状、上翅は黄～橙色地に黒紋がある……………7
7. 前胸腹板突起に縦隆線はない、上翅の中央会合部に大黒紋がある……………
 ……………オオテントウ属 *Synonycha*
 — 前胸腹板突起に1対の縦隆線がある、上翅の会合部に黒紋はない……………
 ……………ハラグロオオテントウ属 *Callicaria*
8. 触角後方にある眼のえぐれは狭く深い、眼は大きく、その間隔は頭幅の約 $\frac{1}{2}$ ……………
 ……………マエフタホシテントウ属 *Phrynocaria*
 — 眼のえぐれは広く浅い、眼間距離は頭幅の $\frac{1}{2}$ か、それ以上……………9
9. 前胸背板の大部分は黒い、上翅外縁は狭く平圧される……………オオフタホシテントウ属 *Lemnia*
 — 前胸背板の大部分は淡色、上翅外縁はほとんど平圧されない……………
 ……………カタホシテントウ属 *Coelophora*
 (カタホシテントウ *C. inaequalis* (FABRICIUS) は前胸背板に2～4個の小黒紋、上翅に原則として9黒紋がある、4.5-5.0mm、小笠原；東南アジアからオーストラリア；マイクロネシアなどに広く分布、外国産では背面の斑紋は変化が多い)……………
10. 腹部第1節の腿節線は完全か、不完全な場合はその側方に斜走線をとまなう……………11
 — 腹部第1節の腿節線は不完全で、側方に斜走線はない……………16
11. 小楯板は微小で、前胸幅の約 $\frac{1}{6}$ 、上翅側片は体幅の $\frac{1}{6}$ より狭い……………ルイステントウ属 *Adalia*
 — 小楯板は正常で、前胸幅の $\frac{1}{6}$ 以上、上翅側片は体幅の $\frac{1}{6}$ より広い……………12
12. 触角は前頭の幅と等長かより短い、触角末端節は前節より狭く先端はとがる、触角基節は長より幅広く、内方に強くふくらむ……………ダングラテントウ属 *Menochilus*
 — 触角は前頭の幅よりも短くない、触角末端節は横長で先端は裁断状か、長卵形、触角第1節は細長く、正常……………13
13. 中胸腹板の前縁は平たん、前胸上側板はほぼ平たん……………14
 — 中胸腹板の前縁は中央が弱くえぐられる、前胸上側板は浅く凹圧される……………15
14. 前胸腹板突起の縦隆線は基節高の前縁を少し越える、上翅基部は前胸より少し幅広い、上翅周縁は狭くそり返る、赤色地に黒点や斑がある……………ナナホシテントウ属 *Coccinella*
 — 前胸腹板突起の縦隆線は腹板の前縁に達する、上翅基部は前胸とほぼ同幅、上翅周縁はほとんどそり返らない、黒地に黄～橙斑がある……………ジュウシホシテントウ属 *Coccinula*
15. 触角は前頭幅より少し長く、先端節はその前節より幅狭い、前胸背板の側縁は弱く弧状で、後角はやや角ばる。ふつう4mm以下……………ウスキホシテントウ属 *Oenopia*
 — 触角は前頭幅の約1.5倍で、先端節はその前節より幅広い、前胸背板の側縁はかなり強く弧状で後角はまるまる。ふつう4.5mm以上……………ナミテントウ属 *Harmonia* (一部)
16. 上翅側片の幅は体幅の約 $\frac{1}{6}$ 、上翅周縁は縁どられない、触角は眼間距離よりわずかに長く、先端節は長さより広い、小楯板は小さく、前胸の幅の $\frac{1}{6}$ 以下……………チャイロテントウ属 *Micraspis*
 — 上翅側片の幅は体幅の $\frac{1}{6}$ より狭い、上翅周縁は縁どられる、触角は眼間距離よりはるかに長く、先端節は幅より長い、小楯板の幅は前胸の $\frac{1}{6}$ 以上……………17
17. 上翅先端の会合線部はえぐられるかひろがり、短毛を有する……………ウンモンテントウ属 *Anatis*
 — 上翅先端の会合線部は単純……………18
18. 爪はひじょうに細く、中央に歯がある、前胸腹板突起に縦隆線はない……………
 ……………ジュウロクホシテントウ属 *Sospita*
 — 爪はひじょうに細くなく、基部に歯がある、前胸腹板突起に1対の縦隆線がある……………19
19. 上翅側片の内隆線は翅端に達する、中胸腹板は基節間において斜めになる……………

第42図版

-ヒメカメノコテントウ属 *Propylea*
 一 上翅側片の内隆線は翅端に達しない。中胸腹板は基節間において平行.....
シロトホシテントウ属 *Calvia*
 テントウムシ族の各種は一部の例外を除き、幼虫、成虫ともにアブラムシ類を捕食し、その天敵として有益なものが多い。

27. ジュウサンホシテントウ *Hippodamia tredecimpunctata* (LINNÉ)

5.6-6.2mm. 前胸背板中央部は前縁を除き黒色。上翅は橙色地に13個の黒紋があるが、しばしば一部が消失する。北海道、本州、四国、九州；朝鮮半島，中国，シベリア，モンゴル，ヨーロッパ，中央アジア，北アメリカ。

28. ジュウクホシテントウ *Anisosticta kobensis* LEWIS

3.8-4.1mm. 淡黄色で、頭部に1対，前胸背板に3対，上翅に19個の黒点があるが、一部あるいはほとんどが消失することがある。北海道、本州、四国、九州；朝鮮半島，中国(北部)，ウスリー。

29. ルイステントウ *Adalia conglomerata* (LINNÉ)

3.4-4.3mm. 淡色型は原則として会合線部が黒く、各翅1½-3-2½に配列した黒点があるが、黒点は横に融合したり(29₁)、消失したりし、ほとんど全体淡黄色となることもある。暗色型(29₂)は黒地に2対の薄色紋があるが、変化が多い。針葉樹につくカサアブラムシ類を捕食する。北海道、本州、四国、九州；シベリア，ヨーロッパ。

第43図版

1. アイヌテントウ *Coccinella ainu* LEWIS

4.3-5.6mm. 各上翅の黒紋は安定していて1½-2-2。北海道、本州；朝鮮半島，中国，シベリア東部。

2. コノホシテントウ *Coccinella explanata* MIYATAKE

5.1-6.8mm. 各上翅の黒紋は1½-2-1。少ない。北海道、本州；朝鮮半島。

3. ナナホシテントウ *Coccinella septempunctata* LINNÉ

5.0-8.6mm. 普通種。北海道、本州、四国、九州、琉球、千島、小笠原、硫黄諸島；ユーラシア大陸のほとんど全域と近隣諸島，アフリカ(北部)。

4. ダイモンテントウ *Coccinella hasegawai* MIYATAKE

6.0-6.5mm. 5個の黒斑は逆大字形に赤色部を残すが、基方の3個は融合することがある。まれ。本州(中部高山地区)，千島(ウルップ島，択捉島)。

5. マクガタテントウ *Coccinula crotchii* (LEWIS)

3.0-3.8mm. 上翅の2対の橙色斑は安定している。やや少ない。北海道、本州。

6. ジュウシホシテントウ *Coccinula quatuordecimpustulata* (LINNÉ)

2.9-4.3mm. 次の2種にやや似るが、上翅の会合部に沿って4対の黄紋があり、黒色部は

側縁に達し、背面の隆起は強い。本州；朝鮮半島，中国，シベリア，ヨーロッパ。

7. ウスキホシテントウ *Oenopia hirayamai* (YUASA)

3.3-4.0mm. 上翅黒色部の外縁は四角に突出する。会合線に沿った黄紋は3対。北海道，本州，四国，九州。(Synharmonia 亜属)。

8. ムツキボシテントウ *Oenopia scalaris* (TIMBERLAKE)

3.3-3.9mm. 上翅黒色部の外縁は波形。本州，九州，小笠原(兄島，父島)；朝鮮半島，台湾，インドシナ半島(Protocaria 亜属)。

9. コカメノコテントウ *Propylea quatuordecimpunctata* (LINNÉ)

4.0-4.8mm. 上翅の肩部と後側方の黒紋はそれぞれ2個ずつに分離するのが原型(9₁)であるが、しばしば融合し、さらに黒色部が拡大して黄紋を残す型(9₂)になる。腿節に黒色部がある点で次種から区別される。北海道，本州(近畿以北の山地)，千島；朝鮮半島，中国，サハリン，シベリア，ヨーロッパ。

10. ヒメカメノコテントウ *Propylea japonica* (THUNBERG)

3.0-4.6mm. 基本型(10₁)は前種に似ているが、上翅肩部黒紋はまがたま型かまるく、2個に分離することはない。せすじ型(10₂)は上翅の会合部だけが黒く、肩紋型はさらに肩部に小黒点が現れ、四紋型(10₃)は後側部にも小黒点をもつ。黒型(10₄)は上翅はほとんど黒く、ふつう狭い周辺部と小楯飯わきの小点が黄色。腿節は黄色で黒色部がない。上翅斑紋多型は遺伝的。普通種。本州中部以北では、前種が山地性なのに対し、本種は平地、低山に分布するが、かなり広い範囲で同所的に生息する。両者の間には室内交配実験では妊性のある雑種が生じるが、自然では生殖的に隔離された独立種と考えられる。北海道，本州，四国，九州，千島，対馬，岩岐，五島列島，屋久島，琉球(ほとんど全域)；朝鮮半島，中国，サハリン，シベリア，インドシナ半島，タイ，インド。

11. シロトホシテントウ *Calvia decemguttata* (LINNÉ)

4.5-6.0mm. 各上翅の白紋は2-2-1に配列するが消失し全体淡黄色になることがある。北海道，本州，四国，九州，佐渡；中国，シベリア，ヒマラヤ，ヨーロッパ。(Calvia 亜属)。

12. シロジウシホシテントウ *Calvia quatuordecimguttata* (LINNÉ)

4.4-6.0mm. 基本型(12₁)は上翅の黄褐色地に白紋が各翅1-3-2-1に配列する。暗色型(12₂)は前胸背板と上翅の地色が黒褐色となる。紅型(12₃)は背面地色は紅赤色で、前胸背板に1対，上翅に12個の黒紋があり、そのうちの3個は会合線上にまたがる。北海道，本州，四国，九州，千島列島，対馬，五島列島；朝鮮半島，中国，台湾，サハリン，シベリア，ヨーロッパ，北アメリカ。(Anisocalvia 亜属)。

13. ムーアシロホシテントウ *Calvia muii* (TIMBERLAKE)

4.0-5.1mm. 背面は黄褐色地で、前胸背板に4個の白紋が横列し、上翅に2-2-2-1に配列する白紋があり、そのうち会合線に沿う前方3個は弧状に並ぶ。北海道，本州，四国，

第43図版

九州，佐渡，対馬，五島列島，琉球（奄美大島）；台湾，中国。（13～15は *Eocaria* 亜属）。

14. シロジュウゴホシtentウ *Calvia quindecimguttata* (FABRICIUS)

4.9-5.2mm. 前種に似ているが，前胸背板の白紋は2または3個で，上翅の会合線に沿う前方3個は会合線にほぼ平行に並ぶ。日本では少ない。北海道，本州，四国，千島；シベリア，サハリン，中国，インド，ヨーロッパ，中央アジア，コーカサス。

15. アマミシロホシtentウ *Calvia parvinotata* (MIYATAKE)

4.2-4.9mm. ムーアシロホシtentウに似ているが，前胸背板の白紋は外方に2個のみ，上翅白紋は小さく，肩部の小紋を欠く。琉球（奄美大島）。

16. ジュウロクホシtentウ *Sospita oblongoguttata* (LINNÉ)

7.0-8.5mm. 上翅白紋は1-3-2-1に並び，多くは三角形で，一部消失することもある。邦産は亜種 *S. o. nipponica* (YUASA)。本州，九州；朝鮮半島。基亜種は中国，シベリア，ヨーロッパ，北アメリカに広く分布。（17とともに *Myzia* 亜属）。

17. カサイtentウ *Sospita gebleri* (CROTCH)

6.1-7.7mm. 特異な斑紋で同定は容易。まれ。北海道；サハリン，シベリア。

18. ウンモンtentウ *Anatis halonis* LEWIS

6.7-8.5mm. 白色部に囲まれた中黒の眼状紋が2-3-3-1に配列するが，一部の黒点が消失することがある（18a）。北海道，本州，四国，九州，千島（色丹島，国後島）。

19. チャイロtentウ *Micraspis discolor* (FABRICIUS)

3.7-4.7mm. 前胸背板は黄褐色で基部に1対の三角小黑紋，中央に1対の小円黒紋があり，上翅は会合線が細く黒色。屋久島以南ではふつう。九州，甕島，屋久島，琉球（ほとんど全島）；台湾，中国，インドシナ半島，インド，スリランカ。

20. クロスジチャイロtentウ *Micraspis kiotoensis* (NAKANE et M. ARAKI)

3.5-3.7mm. 前胸背板は前，側縁を除き黒色。各上翅中央に縦長黒条がある。まれ，本州，九州。

21. ムモンチャイロtentウ *Micraspis kurosai* MIYATAKE

3.1-3.9mm. 背面にまったく黒色部を欠く。邦産の他の無紋tentウとは触角が短いことと小楯板が小さいことで区別できる。まれ，本州。

22. ムナグロチャイロtentウ *Micraspis satoi* MIYATAKE

3.4-3.6mm. 前胸背板は前縁を除き黒色。上翅は会合線部だけが黒色。ヒメカメノコtentウのせすじ型に似ているが，後腿節が黒く，体形はまるい。まれ，本州。

23. オオジュウゴホシtentウ *Harmonia dimidiata* (FABRICIUS)

6.5-9.0mm. 前胸背板の基部にハート形の黒斑があり，上翅の黒紋は1-3-2-1/2。九州（？），琉球（？）；台湾，中国，インド，ネパール。

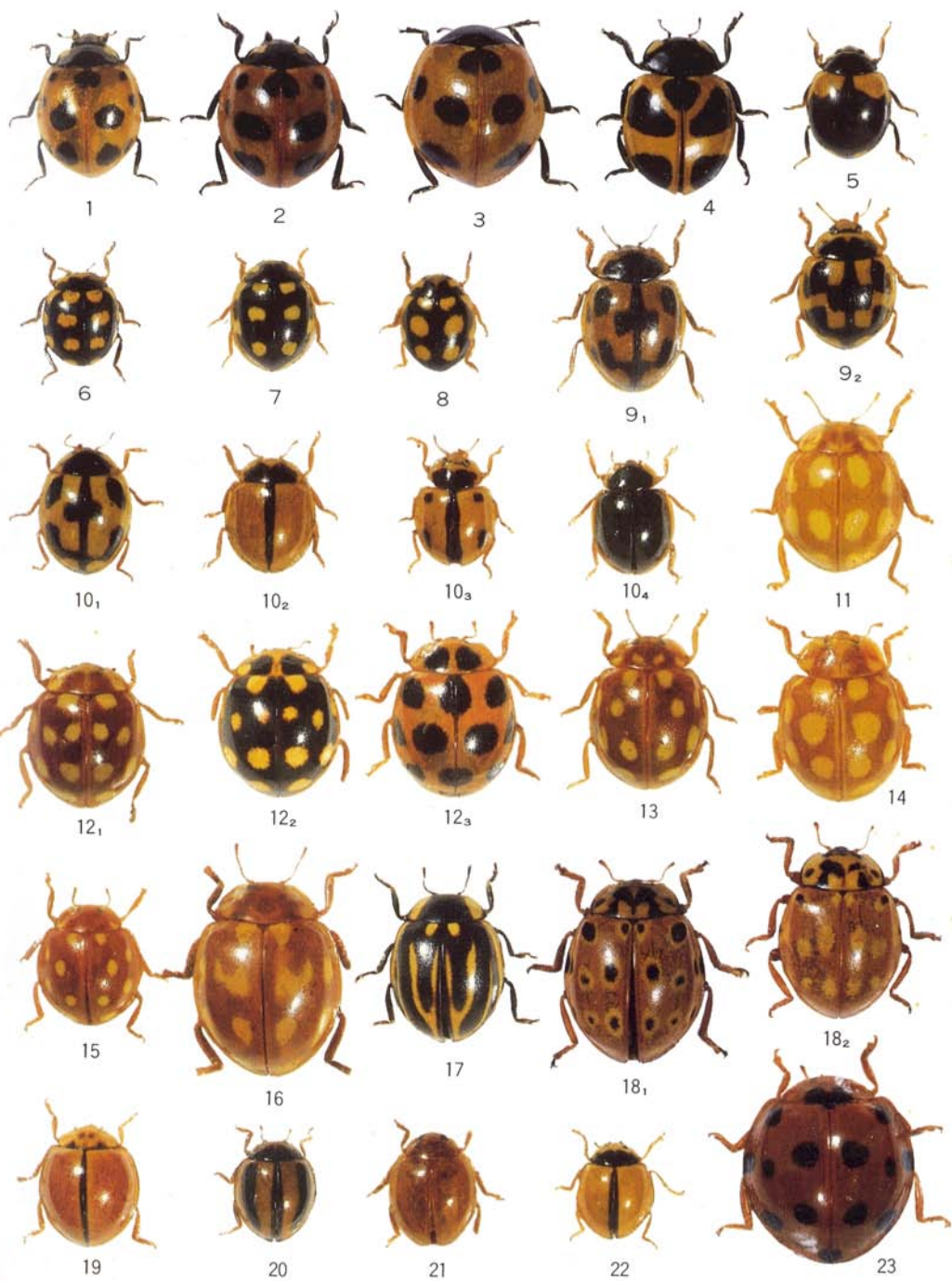
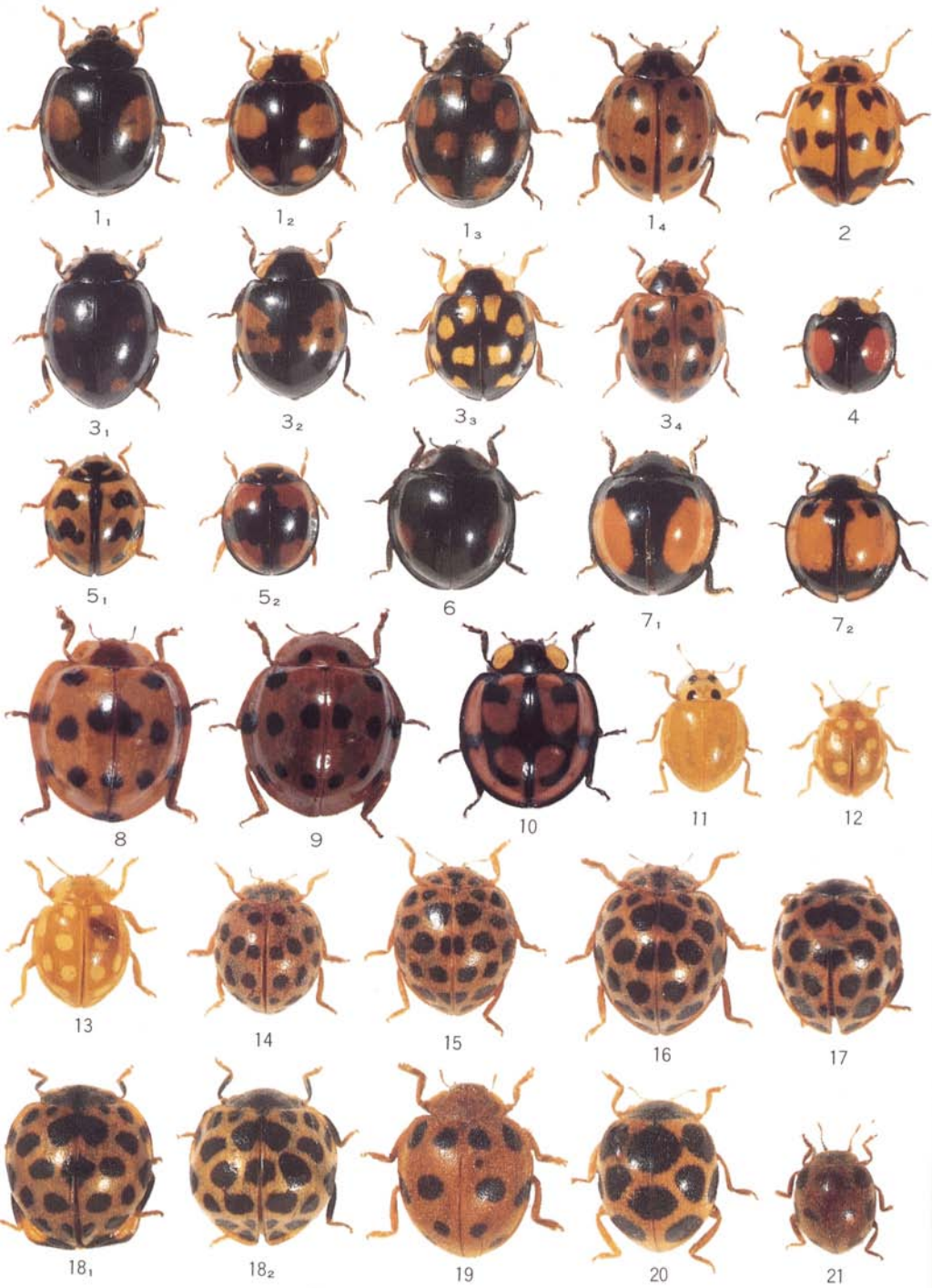


PLATE 44



1. ナミテントウ *Harmonia axyridis* (PALLAS)

4.7-8.2mm. 前胸背板は黒色で側方に白色部をもつが、白色で中央に2対の黒紋またはM字形紋をもつなど変異があり、上翅にはつぎのような遺伝的斑紋多型がある。基本的には4型があり、二紋型(1₁)は黒色地に中央前に1対の赤紋がある。四紋型(1₂)は各翅前後に並ぶ2個の赤紋がある。斑型(1₃)は黒色地に各翅1-2-2-1に並ぶ赤紋がある。紅型(1₄)は黄~赤色地に2-3-3-1に配列する黒紋をもつが、しばしば一部の紋が融合したり、消失することがあり、黒紋がまったく消失することもある。そのほか、頻度は少ないが、上翅の周辺部だけが黒色になる型や、上翅中央部に赤帯をもつ型など多数の遺伝的多型がある。日本でのテントウムシ類の最普通種で、斑紋変異に富むだけに正確な同定が困難になるが、幼虫形態は安定しており、腹部背線突起が三叉状(本属の特徴)、腹部第1節、第4、5節背線突起が淡色、腹部第1~5節の背側部が淡色である。成虫の翅端前に現れる横ひだは本種に特異な遺伝形質でその出現はほぼ半数である。北海道、本州、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島；朝鮮半島、サハリン、中国、シベリア。

2. ヤホシテントウ *Harmonia octomaculata* (FABRICIUS)

5.8-7.0mm. 前種の紅型に似ているが、体形はやや細く、前胸背板は後角はよりゆるやかにまるまる。上翅斑紋の変異はいちじるしいが、前から二段目の黒紋はほぼ水平に並び、後端の黒紋は翅端に接する。会合線部が黒色になることが多い。対馬、天草島、甌島、屋久島、琉球(トカラ列島、奄美大島、沖縄本島、八重山諸島)；台湾、中国、インドからオーストラリアまで各地、ニューカレドニア、ミクロネシア。

3. クリサキテントウ *Harmonia yedoensis* (TAKIZAWA)

4.8-8.0mm. ナミテントウときわめてよく似ており、斑紋多型も平行的に類似しており、成虫による区別は困難であるが、幼虫は明らかに異なり、生殖的に隔離されている別種であることが証明された。終令幼虫は腹部第1~7節背側部が淡色で、背線突起は全節すべて黒色であることで、ナミテントウと区別される。成虫では、翅端がややとがり、上翅側片内隆線が翅端部で消失し、♂交尾器陰茎末端骨片がやや長いことで異なるが、その識別は困難である。マツ類の樹上に特異的に生息する。本州、四国、九州、屋久島、琉球(トカラ中島、宝島、奄美大島、沖縄本島、宮古島、八重山諸島)；台湾、中国(?)、朝鮮半島(?)。

4. マエフタホシテントウ *Phrynocaria congener* (BILLBERG)

4.3-5.0mm. 背面は強くふくらみ、前胸背板は前縁の狭い淡色部を除き黒色。上翅の赤紋は大きく、中央より前方にある。頭部は♂では淡黄色で、♀では暗褐色。琉球(沖縄本島、石垣島、西表島)；台湾、中国、インド。

5. ダンダラテントウ *Menochilus sexmaculatus* (FABRICIUS)

3.7-6.7mm. 斑紋の変異がいちじるしく、ナミテントウと混同されることがあるが、属の検索表に示した特徴(とくに触角)に注意すればまちがうことはない。六紋型(5)は上翅会合線部と周縁が黒く、中央に波状の黒帯があり、その前後に2対の黒紋があるのを基本

第44図版

とするが、しばしばその一部が消失する。四紋型(5₂)は黒色地に、前後に並ぶ2対の赤紋があり、淡色のものでは、十字形の黒色部を残すまでとなり、暗色のものでは、4赤紋はいちじるしく縮小し、さらには、後赤紋が消失し、肩部に縦長の小赤紋を残すだけとなる。そのほか複雑な遺伝的多型があり、また、地理的にも変異の勾配があり、今後の研究課題とされる。本州(中部から西南部)、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、種子島、屋久島、琉球(ほとんど全島)、小笠原;台湾、中国、東南アジアからアフガニスタンまで、ニューギニア、ポリネシア、ミクロネシア。

6. カリブソテントウ *Lemnia saucia* MULSANT

5.6-6.7mm。日本(対馬)産のものでは上翅の赤紋は小さく、中央より後方にあるが、台湾などでは大型になることが多い。前胸背板側方の白紋は大きく後縁に達する。対馬;台湾、中国、フィリピン、タイ、インドシナ半島、インド、ネパール。

7. オオフタホシテントウ *Lemnia biplagiata* (SWARTZ)

5.2-7.1mm。前胸背板側方の白紋は後縁に達しない。各上翅中央に大型の赤紋があり、ほぼ円形が横長(7₁)。淡色型(7₂)では、会合線部が黒く、上翅後方に黒横帯があり、肩部に円形の黒紋がある。ときに、両型の移行型がある。九州(南端部)、甌島、男女群島、琉球(トカラ列島、奄美諸島、沖縄本島、八重山諸島);台湾、朝鮮半島、中国、フィリピン、インドシナ半島、インドネシア、インド、チベット、ネパール。

8. オオテントウ *Synonycha grandis* (THUNBERG)

10.5-13.0mm。前胸背板中央基部に大黒斑があり、上翅黒紋は各翅1-2½-2½-½に配列し、中央紋は大型。体下面、肢などはすべて黄褐色で黒色部はない。本州、四国、九州、屋久島、琉球(奄美諸島、沖縄本島、宮古島、八重山諸島);台湾、中国、フィリピン、インドネシア、マレーシア、インドシナ半島、インド、スリランカ、ニューギニア、オーストラリア。

9. ハラグロオオテントウ *Callicaria superba* (MULSANT)

11.0-12.0mm。前胸背板に1対の小黒紋があり、上翅黒紋は1-3-3に配列。胸部下面と腹部中央部は黒色。本州、四国、九州;台湾、中国、チベット、ヒマラヤ、インド。

10. カメノコテントウ *Aiolocaria hexaspilota* (HOPE)

8.0-11.7mm。体形は円形に近く、前胸背板上と上翅が接する幅は、上翅基部幅の約¾。上翅側片の幅は広く、体長の約¾以上。まれに上翅は完全に黒色となる。北海道、本州、四国、九州;台湾、中国(南部)、ヒマラヤ、インド(北部)。

近縁のナガカメノコテントウ *A. mirabilis* (MOTSCHULSKY) はやや細長く、前胸背板上と上翅が接する幅は上翅基部幅の約¾。北海道、千島;朝鮮半島、シベリア、中国(北部)。

11. キイロテントウ *Illeis koebelei* TIMBERLAKE

3.5-5.1mm。上翅はつねに鮮黄色で無紋。前胸背板は白色で1対の小黒点がある。普通種。本州、四国、九州、佐渡、対馬、壱岐、五島列島、屋久島、琉球(トカラ列島、八重

山諸島)；台湾，朝鮮半島。亜種 *I. k. amamiana* MIYATAKE は前胸背板黒点が大きく，琉球（奄美大島，沖縄本島）に分布。

12. シロホシテントウ *Vibidia duodecimguttata* (PODA)

3.1-4.9mm. 前胸背板の前縁はほとんど直線状でわずかに波曲し，側方は白色。上翅の白紋は1-2-2-1に配列し，側方の2紋は上翅側縁に接する。普通種。北海道，本州，四国，九州，佐渡；朝鮮半島，中国，シベリア，コーカサス，小アジア，ヨーロッパ。

近縁のアラキシロホシテントウ *V. nagayamai* M. ARAKI は，翅白紋がやや大きい，外観での区別は困難で，交尾器で区別される。まれ。北海道，本州，九州。

13. シロジウロクホシテントウ *Halyzia sedecimguttata* (LINNÉ)

6.0-6.4mm. 前胸背板は前方に張り出して頭部をおおい，その前縁は弱い弧状。上翅白紋は1-2-3-1-1に配列する。触角は頭幅より長い。北海道，本州，四国，九州；シベリア，中国，モンゴル，小アジア，ヨーロッパ。

14. ニジュウヤホシテントウ *Epilachna vigintioctopunctata* (FABRICIUS)

5.3-6.8mm. 上翅斑紋はふつう比較的小さく，c-b-3-d紋(図24参照)が弧状に並ぶ。ときに上翅斑紋(とくに図24のa~h)は一部が消失したり，融合したりすることがある。後腿節は完全に赤褐色で黒斑がない。各上翅の先端内縁は角ばる。ジャガイモなどの害虫。本州(温暖地域)，四国，九州，対馬，岩崎，五島列島，男女群島，屋久島，琉球(ほとんど全島)；中国，台湾，インドシナ半島，インド，ニューギニア，オーストラリア。

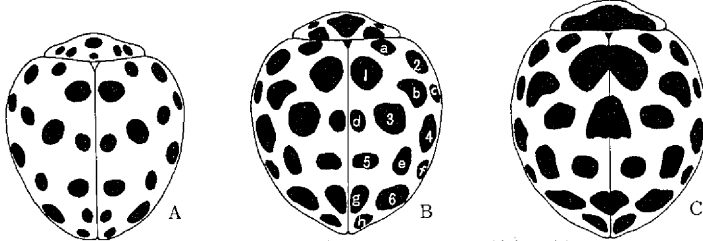


図24. 背面の斑紋(模式的に描き，その記号を示す)

A. ニジュウヤホシテントウ B. オオニジュウヤホシテントウ C. ヤマトアザミテントウ
(1~6は消失することのない安定斑紋 a~hは小型化したり消失したりすることのある不安定斑紋)

15. オオニジュウヤホシテントウ *Epilachna vigintioctomaculata* MOTSCHULSKY

6.6-8.2mm. 上翅斑紋はふつう比較的大きく，2-b-3-d紋(図24参照)が弧状に並ぶ。通常d紋はとくに大きくなく長円形か円形。1紋はまるいことが多い。上翅斑紋は一部がまれに消失したり，しばしば融合し，ときにいちじるしい黒化型が出現する。後腿節は赤褐色で，つねに黒斑があるが全体にひろがらず，後腿節は赤褐色。各上翅の先端内縁はまるい(つぎの3種も同様)。背面の地色はふつう淡赤褐色で光沢は弱い。ジャガイモ，ナスなどの大害虫で，ナス科植物を食草とする。北海道，本州，四国，九州，千島(国後島)，佐渡；サハリン，シベリア東部，朝鮮半島，中国。

16. ヤマトアザミテントウ *Epilachna niponica* LEWIS

5.5-8.5mm. 前種に似ているが、つぎの点で異なる。上翅の1紋は左右が連続し、その前縁はひと山になる。d紋は左右完全に連続し、楕形の1紋となる。g, h紋は大きい。後腿節は両端の小部分を除き、ほとんど黒色。上翅の地色は濃赤褐色で、光沢がやや強い。体形は変化が多いが、ふつう上翅先端部周縁が多少とも外方に張り出し、背面後方が強くもり上がることもある。アザミ類を食草とするが、ジャガイモ畑に侵入して前種と混生することがある。従来コブオオニジュウヤホシテントウ本州型とされていたもの。北海道(渡島半島)、本州、地域分化がいちじるしい。形態的には本種に似るが、ジャガイモを正常の食草としている疑問型(東京西郊型)が関東南部から中部地方南部に生息する。

17. ルイヨウマダラテントウ *Epilachna yasutomii* (KATAKURA)

6.5-7.0mm. 前種にきわめてよく似ているが、やや小型で、上翅先端周縁の張り出しがほとんどなく、背面後方が強くもり上がることもない。ルイヨウボタンを食草とし、トチバニンジンにつくこともある。局所的。北海道(南部)、本州(青森県、長野県)。

18. エゾアザミテントウ *Epilachna pustulosa* KÖNO

6.5-8.3mm. ヤマトアザミテントウにきわめてよく似ており、比較的是っきりした3型がみとめられる。基本型(18₁)は上翅先端部が外側方に顕著にひろがり、そこに顕著なこぶ状隆起がある。層雲峡型(18₂)は背面後方が強くもり上り、側方からみた場合、頂上は中央よりはるかに後方にあり、後面は急傾斜のS字型をなす。札幌型は上翅後縁が少し張り出し、こぶ状隆起はないかあっても小さい。北海道北端部には札幌型に類似した型がいる。これらの諸型は異所的に分布する。アザミ類が食草。北海道(渡島半島を除く)。

19. ジュウニマダラテントウ *Epilachna boisduvali* MULSANT

7.5-8.0mm. 背面の地色は橙色。前胸背板に黒斑を欠き、上翅には2-2-1-1に配列した6対の黒紋があり、各紋はまるく互いに融合することはない。体下と肢は淡色で、後胸腹板と腹部中央部が黒い。食草はウリ科。琉球(トカラ列島、奄美諸島、沖縄本島、宮古島、八重山諸島);台湾、フィリピン、スマトラ、オーストラリア。

20. トホシテントウ *Epilachna admirabilis* CROUCH

5.4-7.5mm. 背面の地色は暗赤色。前胸背板の黒斑は大きく横長で、拡大してほとんど全体黒色となることもある。上翅黒斑はときに大きくなり融合することがある。体下はほとんど黒色のものから、後胸と腹部一部が黒色のものまで変化し、肢の色も変化に富む。食草はカラスウリなど。北海道、本州、四国、九州;台湾、中国、ビルマ。

21. ツシママダラテントウ *Epilachna chinensis* (WEISE)

4.5-5.6mm. 前種にやや似ているが、小型で上翅会合線部後方の黒紋を欠き、背面地色は赤味が少ない。日本産は亜種 *E. c. tsushima* (NAKANE et M. ARAKI)。食草はウリ科。対馬;台湾、中国。

